

～株主のみなさまへ～

# 株主メモ

事業年度	12月1日から翌年11月30日まで
配当金受領株主確定日	期末配当 11月30日 中間配当 5月31日
定時株主総会	毎年2月
公告方法	電子公告（当社ホームページ） ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711（通話料無料）

## ホームページのご案内

当社に関する情報がご覧になれます。



<http://www.hokkochem.co.jp/>

# 第61期 中間事業レポート

（平成21年12月1日から平成22年5月31日まで）



### （ご注意）

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



〒103-8341 東京都中央区日本橋本石町四丁目4番20号  
TEL 03(3279)5151



## ●株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当社グループの第61期上半期（平成21年12月1日から平成22年5月31日まで）の事業概況につきまして、ご報告申し上げます。

当期間におけるわが国経済は、新興国の経済成長や国内外の景気浮揚政策の効果により、輸出、生産が主導する形で、景気の持ち直し基調が継続いたしました。しかしながら、これまで景気の持ち直しに大きく貢献してきた民間消費に、やや減速感がでてきており、景気回復テンポの鈍化が懸念されます。

国内農業におきましては、農業人口の減少・高齢化、後継者不足などにより将来的な国内農産物の安定供給が懸念される中で、食糧自給率の向上や農業経営の改善などを目指した「戸別所得補償制度」のモデル事業が水田農家を対象にスタートいたしました。一方、農薬業界におきましては、作付面積の減少に加えて、系統組織を中心とした流通在庫の圧縮など、厳しい事

業環境が続いております。こうした中で、当社グループでは新剤の販売により売上高が増加し、農薬製品全体の売上高は174億9千万円（前年同期比16億4千5百万円の増加、同10.4%増）となりました。

また、農薬以外のファインケミカル業界におきましては、わが国経済の景気の持ち直し基調を受け、受注は回復傾向にありますが、耐久消費財に対する景気刺激効果の一巡などによる需要への影響が懸念されます。当社グループの農薬以外のファインケミカル製品の販売は、医農薬中間体、防汚剤などの受注が低迷しているものの、電子材料原料、樹脂添加剤などの需要が堅調であることから、売上高は66億2千4百万円（前年同期比17億7千1百万円の増加、同36.5%増）となりました。

以上のように、当社グループは、農薬製品、農薬以外のファインケミカル製品ともに積極的な販売に努めました結果、全体の売上高は241億6千2百万円（前年同期比34億7百万円の増加、同16.4%増）となりました。

利益面では、売上高の増加に加え、一般管理費販売費の節減に努めたことおよび研究開発費等の一部経費の計上が第3四半期以降になった結果、営業利益は12億4千3百万円（前年同期比11億円の増加）、経常利益は10億7千6百万円（前年同期は経常損失3千9百万円）、四半期純利益は5億8千8百万円（前年同期は四半期純損失3億7千1百万円）となりました。

なお、当期の中間配当につきましては、引き続き厳しい経営環境にあり、期初の予想通り一株につき4円とさせていただきますので、ご案内申し上げます。また、年間の配当につきましては、8円とさせていただく予定でございます。

下期におきましては、農薬部門は、農薬製品の販売環境の好転が見込めないことや、一部農薬製品の登録内容の変更の影響などにより売上高が期初の予想より減少する懸念があります。また、農薬以外のファインケミカル部門は、景気の好不況に左右されるため、欧州経済の低迷等今後の世界経済の動向が懸念されます。この

ような状況のもと、農薬新製品の拡販を強化し、昨年竣工した岡山工場合成第8工場と張家港北興化工第2工場の2つの新プラントの順調な立ち上げに取り組むとともに、一層の経費削減による収益の改善に努めてまいります。

当社グループは、今後とも株主のみなさまの期待と信頼に応えるよう業績の向上を図るとともに、企業価値を高めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年8月



代表取締役社長

丸山孝雄

## ● 連結財務諸表(要旨)

### ● 第2四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期 別		
	当第2四半期 (平成22年5月31日現在)	前第2四半期 (平成21年5月31日現在)	前連結会計年度 (平成21年11月30日現在)
<b>(資産の部)</b>			
流動資産	31,992	34,167	28,600
固定資産	15,894	14,042	15,431
資産合計	47,886	48,208	44,031
<b>(負債の部)</b>			
流動負債	23,850	22,484	20,343
固定負債	9,824	11,039	10,211
負債合計	33,674	33,523	30,554
<b>(純資産の部)</b>			
株主資本	13,543	13,955	13,039
資本金	3,214	3,214	3,214
資本剰余金	2,608	2,608	2,608
利益剰余金	8,711	9,121	8,205
自己株式	△ 990	△ 988	△ 989
評価・換算差額等	669	730	438
その他有価証券評価差額金	846	847	708
繰延ヘッジ損益	△ 3	△ 1	△ 17
為替換算調整勘定	△ 175	△ 115	△ 252
純資産合計	14,212	14,685	13,477
負債及び純資産合計	47,886	48,208	44,031

### ● 第2四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期 別		
	当第2四半期 (平成21年12月1日から 平成22年5月31日まで)	前第2四半期 (平成20年12月1日から 平成21年5月31日まで)	前連結会計年度 (平成20年12月1日から 平成21年11月30日まで)
売上高	24,162	20,755	36,740
売上原価	18,780	16,072	29,109
売上総利益	5,383	4,683	7,631
販売費及び一般管理費	4,140	4,540	9,099
営業利益又は営業損失(△)	1,243	143	△ 1,468
営業外収益	262	242	636
営業外費用	428	424	922
経常利益又は経常損失(△)	1,076	△ 39	△ 1,755
特別利益	5	40	75
特別損失	24	568	706
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期(当期)純損失(△)	1,057	△ 567	△ 2,385
法人税等	469	△ 196	△ 1,237
四半期純利益又は 四半期(当期)純損失(△)	588	△ 371	△ 1,149

### ● 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	期 別		
	当第2四半期 (平成21年12月1日から 平成22年5月31日まで)	前第2四半期 (平成20年12月1日から 平成21年5月31日まで)	前連結会計年度 (平成20年12月1日から 平成21年11月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,084	△ 5,574	△ 2,360
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 908	△ 1,816	△ 2,458
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,638	6,928	4,528
現金及び現金同等物に係る換算差額	31	31	△ 33
現金及び現金同等物の増減額	△ 323	△ 432	△ 323
現金及び現金同等物の期首残高	1,306	1,629	1,629
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	984	1,197	1,306

(注) 百万円未満の金額については四捨五入によっております。

## ● 連結財務ハイライト

	第58期		第59期		第60期		第61期
	(中間期)	(通 期)	(中間期)	(通 期)	(第2四半期)	(通 期)	(第2四半期)
売上高 (百万円)	25,337	45,647	25,483	47,526	20,755	36,740	24,162
営業利益又は営業損失(△) (百万円)	976	732	704	180	143	△ 1,468	1,243
経常利益又は経常損失(△) (百万円)	908	594	488	△ 41	△ 39	△ 1,755	1,076
四半期(当期)純利益又は四半期(当期)純損失(△) (百万円)	574	781	284	△ 656	△ 371	△ 1,149	588
一株当たり四半期(当期)純利益又は四半期(当期)純損失(△) (円)	20.74	28.25	10.32	△ 23.81	△ 13.44	△ 41.59	21.31
総資産 (百万円)	49,218	46,789	50,891	45,121	48,208	44,031	47,886
純資産 (百万円)	16,948	17,853	17,128	14,982	14,685	13,477	14,212

(注) 百万円未満の金額については四捨五入によっております。

### ■ 売上高

(単位：百万円)



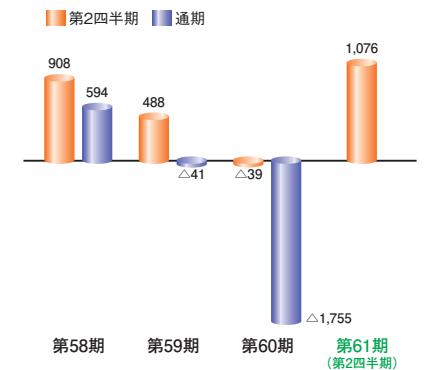
### ■ 営業利益又は営業損失(△)

(単位：百万円)



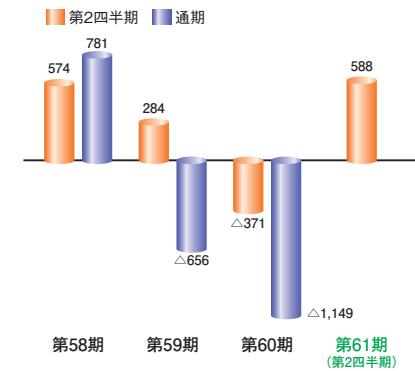
### ■ 経常利益又は経常損失(△)

(単位：百万円)



### ■ 四半期(当期)純利益又は四半期(当期)純損失(△)

(単位：百万円)



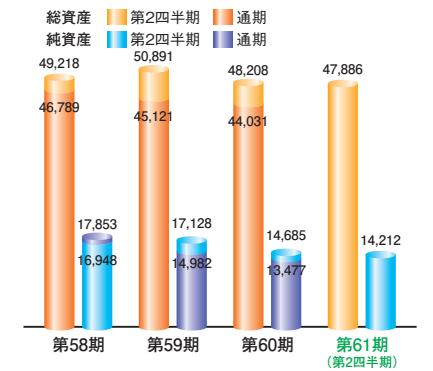
### ■ 一株当たり四半期(当期)純利益又は四半期(当期)純損失(△)

(単位：円)



### ■ 総資産／純資産

(単位：百万円)



## トピックス

### 新規除草剤、殺菌剤販売開始！

#### ●雑草を白く枯らして長く抑える、2成分の水稲用除草剤「エーワン」

本剤は、全国農業協同組合連合会、バイエルクロップサイエンス株式会社および当社の3社が共同開発した新規有効成分テフリルトリオンを含有する水稲用除草剤です。水田のほとんどの雑草に高い効果を示し、スルホニルウレア抵抗性雑草・特殊雑草などの防除が難しい雑草にも高い効果を発揮します。

作業性や圃場条件に合わせて選べる、3剤型を揃えました。



1キロ粒剤



ジャンボ



フロアブル

#### ●幅広い作物・病害の防除に！「アフエットフロアブル」

本剤は、新規有効成分のペンチオピラドを含有する園芸用殺菌剤です。キュウリ、トマトなどに大きな被害を及ぼす、うどんこ病および灰色かび病に高い効果を示します。また、新規の作用性を有しているため、防除上問題となっている既存薬剤の耐性菌に対しても優れた効果を示します。

野菜、果樹の幅広い作物に登録されており、総合園芸用殺菌剤として伸長が期待されます。



### 「多弁咲きシクラメン」の開発に成功

花の形は園芸植物の鑑賞性を高めるために重要な形質です。当社植物バイオチームは、バイオテクノロジーを利用して雄しべと雌しべを花卉に変化させ、花びらが次々と現れる今までにない多弁咲きシクラメンの開発に成功しました。

シクラメンの花びらは本来5枚ですが、このシクラメンの花びらは50枚程度あって、まるでバラのような花の形をしています。従来の育種法では、このようなシクラメンの実現は困難でした。



## 会社の概要

(平成22年5月31日現在)

会社の商号 **北興化学工業株式会社**  
 (英訳名) **HOKKO CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.**  
 本社 東京都中央区日本橋本石町四丁目4番20号  
 創立年月日 昭和25年2月27日  
 資本金 32億1,395万円  
 上場取引所 東京証券取引所 市場第1部上場  
 従業員数 705名

## 役員・執行役員の状況

(平成22年5月31日現在)

代表取締役社長	丸山孝雄
取締役専務執行役員	安部素生
取締役常務執行役員	中川雅博
取締役常務執行役員	小林淳一
取締役執行役員	小川裕二
取締役執行役員	内山次男
取締役	貫和之
常勤監査役	海上浩史
常勤監査役	白岩憲隆
監査役	島田隆幸
監査役	中崎正彦
常務執行役員	前田清一
執行役員	尾野耕造
執行役員	高橋利隆
執行役員	渡辺英夫
執行役員	大場政幸
執行役員	鎌木信良
執行役員	山口茂昭
執行役員	田村義昭

(注) 1. 貫和之氏は、社外取締役であります。  
 2. 白岩憲史、島田隆幸、中崎正彦の各氏は、社外監査役であります。

## 株式の状況

(平成22年5月31日現在)

●発行可能株式総数 92,000,000株  
 ●発行済株式の総数 29,985,531株  
 ●株主数 6,100名  
 (前期末比137名減)

## 連結子会社の状況

(平成22年5月31日現在)

会社名	資本金 (百万円)	当社の議決権比率 (%)
北興産業株式会社	30	100
美瑛白土工業株式会社	10	100
ホクコーパックス株式会社	10	100
張家港北興化工有限公司	1,800	100

(注) ホクコーパックス株式会社の当社議決権比率には、間接所有40%を含んでおります。

## 事業所の所在地

(平成22年5月31日現在)

支店 札幌、秋田、仙台、東京、新潟、富山、名古屋、大阪、岡山、高松、福岡  
 工場 北海道、新潟、岡山  
 研究所 開発研究所(神奈川)、化成品研究所(神奈川)  
 試験農場 北海道、静岡